

令和元年度 ふるさと上越応援寄附金 実績報告書

上越市に
新たな美術館が
誕生しました



小林古径記念美術館
Kobayashi Kokei Memorial Museum of Art



▲ 寄附金を活用し整備した小林古径記念美術館（令和2年10月開館）



新潟県上越市

はじめに

平成 20 年からスタートした本制度も 12 年経過し、令和元年度も多くの皆様からご寄附いただきました。

当市へのご支援に深く感謝いたしますとともに、昨年度にお寄せいただいた寄附の状況、寄附金活用事業の成果などをご報告します。

今後とも引き続き「ふるさと上越市」へのご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。

目次

1 寄附項目、寄附実績等について	… P. 2
2 寄附金の活用状況、事業実績	… P. 4
(1) 水族博物館うみがたりの魅力向上	… P. 4
(2) 高田城址公園の桜の保全・公園整備	… P. 4
(3) 春日山城跡の保存・整備、 謙信公関連事業の推進	… P. 5
(4) 出産・子育て支援	… P. 5
(5) 高齢者福祉の推進	… P. 6
(6) 社会福祉施設等の整備	… P. 6
(7) 「海と山と大地」上越の豊かな自然、 中山間地域を守ろう！	… P. 7
(8) 移住・定住の促進	… P. 7
(9) 文化財・歴史的建造物の保護、 偉人の顕彰	… P. 8
(10) スポーツ振興の推進	… P. 9
(11) 教育環境の整備	… P. 9
(12) 市長にお任せ	… P. 10
3 寄附者の皆さんからの応援メッセージ	… P. 11

1 寄附項目、寄附実績等について



寄附項目とお寄せいただいた寄附実績は次のとおりです。幅広くお選びいただくため、新たな寄附項目の追加と、これまでの寄附項目を新しい寄附項目に含めるなど、令和元年12月、リニューアルしました。

■寄附項目別実績内訳 (…リニューアル後の寄附項目)

寄附項目 (寄附金の使い道)	件数	金額
① 水族博物館うみがたりの魅力向上		
【これまでの寄附項目】 「五感で学ぶ日本海」新しい水族博物館を みんなでつくろう！	1件	100,000円
② 高田城址公園の桜の保全、公園整備		
【これまでの寄附項目】 「日本三大夜桜観桜会」 美しい桜の保全活動を支援しよう！	9件	403,030円
③ 春日山城跡の保存・整備、謙信公関連事業の推進		
【これまでの寄附項目】 「上杉謙信公のふるさと春日山城跡」 将来に向けて保存しよう！	9件	227,000円
④ 出産・子育て支援	4件	1,210,000円
⑤ 高齢者福祉の推進	5件	270,000円
⑥ 社会福祉施設等の整備	4件	40,000円
【これまでの寄附項目】 「すこやかなまちづくり」 子育て世帯にも高齢者にもやさしいまちづくり！	10件	1,462,000円
⑦ 移住・定住の促進	1件	100,000円
【これまでの寄附項目】 「海と山と大地」 上越の豊かな自然、中山間地域を守ろう！	2件	30,000円
⑧ 文化財・歴史的建造物の保護、偉人の顕彰	2件	110,000円
【これまでの寄附項目】 「近代日本をリードした郷土の偉人たち」 先人に学ぶ人づくり！	—	—
【これまでの寄附項目】 「受継がれてきた郷土の文化財」 地域固有の文化財を後世に伝えよう！	3件	125,000円
⑨ スポーツ振興の推進 (東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン推進)	1件	100,000円
⑩ 教育環境の整備	1件	100,000円
⑪ 障害者福祉の推進	—	—
⑫ 市長におまかせ	17件	11,295,000円
合計	69件	15,572,030円

■寄附者の居住地別内訳

寄附者のお住まい	件数	金額
上越市内	10件	6,153,030円
新潟県内（市内除く）	4件	310,000円
新潟県外 （関東甲信地方40件、北陸地方1件、東海地方5件、 近畿地方9件）	55件	9,109,000円
合計	69件	15,572,030円

■寄附者の男女別内訳

男性	女性	未回答
38名	16名	15名

■寄附者の年代別内訳

20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答
1名	13名	10名	12名	9名	9名	15名

■寄附件数と金額の推移（過去3年）

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
寄附件数	77件	71件	69件
寄附金額	14,858,000円	17,715,620円	17,572,030円

2 寄附金の活用状況、事業実績



① ～水族博物館うみがたりの魅力向上～

上越市立水族博物館うみがたりの整備・運営

100,000 円

寄附金は、平成 30 年度にグランドオープンした上越市立水族博物館「うみがたり」の整備・運営に活用しました。

令和元年度は、海洋ごみをテーマにした特別展やマゼランペンギン、鯨類等の常設展示を行うなど、多彩な企画を実施しました。

また、令和元年 10 月には、代表団がマゼランペンギンの保全に関する協力協定を締結しているアルゼンチン共和国チェブ州を訪問し、マゼランペンギンの研究、情報及び技術交換についての具体的事項を定めた附属文書を締結することで、「うみがたり」がマゼランペンギンの生息域外重要繁殖地に指定されました。

今後も、来館者の幅広い興味に応えられるような企画を実施する予定です。

▼アルゼンチン共和国チェブ州との附属文書締結



▲ 特別展「うみのごみ」観覧状況

② ～高田城址公園の桜の保全、公園整備～

高田公園樹木保守管理事業

403,030 円

寄附金は、高田城址公園の桜の保全事業に活用しました。

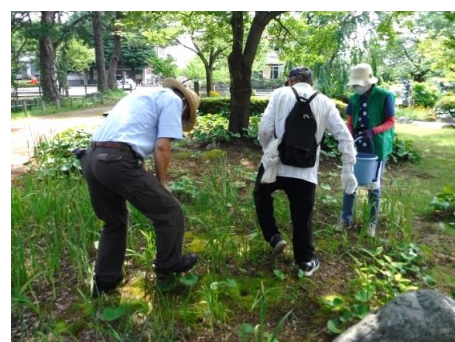
市では、貴重な財産である高田城址公園の桜を守るため、高田城址公園桜長寿命化計画を策定し、50 年、100 年先を見据えた樹木の計画的な世代更新及び生育の健全化を図っています。

桜の管理を担う桜守^{さくらもり}の任用や、専門家（樹木医）による指導・助言等、桜が適切に管理されるような体制を整備しています。

また、市民との協働プロジェクト「桜プロジェクトJ」では、例年同様、桜の施肥（お礼肥え）、腐葉土を用いた土壌改良等の活動に継続的に取り組んでおり、寄附金を活動の備品購入等に活用しています。

引き続き、日本三大夜桜にふさわしい桜の花が咲くように、より一層の管理の充実を図ります。

▼ 桜守の活動風景



▲ 桜プロジェクトJ活動風景（桜の施肥）

③ ～春日山城跡の保存・整備、謙信公関連事業の推進～

春日山城跡保存整備事業 227,000 円

寄附金は、昨年度同様、上杉謙信公の居城である国史跡春日山城跡の保全、景観整備等の取組に活用しました。

令和元年度は、平成 28 年に発生した土砂崩落の災害復旧後の点検と経過観察を継続し、専門家の指導を受けながら城跡保全に不可欠な雨水処理や植生管理、遊歩道のあり方等を検証して、必要な手当てや修繕工事を実施しました。

市民協働による清掃活動や「土の一袋運動」、「松葉かき」も継続して行い、城跡の保護と郷土の史跡への愛着を深めることができました。

引き続き、雨水処理や植生管理など、点検・観察を継続し、市民の皆さんとともに春日山城跡の保全に取り組めます。

▼ 小学生による「土の一袋運動」の様子



▲ 散策会の様子

④ ～出産・子育て支援～

妊産婦・子ども医療費助成事業 2,672,000 円

寄附金は、妊産婦と子どもに係る医療費助成に活用しました。

妊産婦の医療費については、令和元年 9 月から所得要件を撤廃し、一部負担金も助成することで、完全無料化を実現しました。

子どもの医療費については、すでに小学校就学前児童の一部負担金を助成し、完全無料化しています。

今後も、妊産婦と、出生から高校卒業相当までの子どもの医療費を助成し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。



⑤ ～高齢者福祉の推進～

要援護世帯除雪費助成事業 220,000 円

ふれあいランチサービス事業 250,000 円

寄附金は、主にひとり暮らしの高齢者を支援する事業に活用しました。

要援護世帯に対し、屋根、玄関前、そのほか日常生活を送るうえで欠くことのできない場所の除雪費用の一部を助成し、冬期間の雪害事故の防止、生活の安全確保を図りました。

ふれあいランチサービス事業は、主にひとり暮らしの高齢者にバランスのとれた食事を提供する事業です。単なる食事の提供だけではなく、配達時に安否確認を行うことで、高齢者の見守り体制の強化にも大いに役立っています。

▼ 民家周囲の除雪の様子



▲ ふれあいランチ手渡しの様子

⑥ ～社会福祉施設等の整備～

社会福祉施設の整備 40,000 円

寄附金は、将来的な社会福祉施設の整備に要する資金とするため、「上越市社会福祉施設整備基金」に積立てました。

令和元年度は、この基金の運用益を活用して、保育園の統合に伴う統合先施設の整備を行いました。

南川保育園では、トイレなどの改修のほか、老朽化が進む外壁や屋上防水の修繕工事を実施し、施設の長寿命化を図りました。

▼ 上越市立南川保育園 整備後の外観



⑦ ～移住・定住の促進～

中山間地域振興事業 30,000 円

寄附金は、昨年度同様、中山間地域における集落支援、地域活力の維持・強化を図る取組に活用しました。

「集落づくり推進員」と「地域おこし協力隊」が集落と直接的に関わり、集落の実態に合わせた支援を行いました。

中山間地域支え隊事業では、集落行事や共同作業の実施が困難な中山間の集落へ、延べ142人のボランティアを派遣して、行事や作業の実施を市全体で応援しました。

また、地域支え合い体制づくり事業補助金では、地域の冬期間の安全・安心な暮らしを地域の支え合いで守る活動を支援しました。

▼ 地域おこし協力隊による特産品の販売



▲ 中山間地域支え隊による用水普請・草刈

上越市ふるさと暮らし支援センター事業

100,000 円

寄附金は、関係人口の増加を図り、U I J ターンの促進を目的とする「上越市ふるさと暮らし支援センター事業」に活用しました。

令和元年度は、移住インフルエンサーによる SNS への投稿や移住・定住コンシェルジュの活動により、情報発信や相談体制の拡充を図りました。また、移住相談イベント等へ出展を契機として、延べ152件の相談を受けるなど、本市への移住に向けたきっかけづくりを創出しました。

ふるさとワーキングホリデー事業では、参加者の中に本市への移住に向けた検討を始める人が現れるなど、地域と多様な関わりを持つ関係人口の創出や、本市への移住促進につながる可能性を見出すことができました。

▼ 移住・定住コンシェルジュによる移住相談対応



▲ ふるさとワーキングホリデーの様子

⑧ ～文化財・歴史的建造物の保護、偉人の顕彰～

歴史的建造物等の整備支援 135,000 円

指定文化財保存管理事業 100,000 円

令和元年度においては、寄附金は、指定文化財や歴史的建造物の修繕等に活用しました。

市民団体等が行う歴史的建造物の整備への支援を行い、地域コミュニティの形成や市民主体のまちづくりを推進しました。

令和元年度は、板倉区と大島区の国登録有形文化財である住宅主屋について、茅葺屋根の葺き替え改修を支援しました。

改修後の主屋は、カフェや交流イベントの場に活用したり、地元の歴史文化巡りのスポットとして活用され、地域コミュニティの活性化に寄与しています。

また、指定文化財保存管理事業では、指定文化財の維持管理などの経費を支援し、適切な保存と伝承を図りました。

国の指定文化財でもある浄興寺本堂などの維持管理に対しても補助金を交付し、貴重な文化財の保存と活用を図りました。



▲ 茅葺屋根改修後の鴨井家住宅主屋（板倉区）



▲ 茅葺屋根改修後の旧飯田家住宅主屋（大島区）

▼ 新潟県指定文化財 坊金の大スギ（安塚区）



▼ 国指定文化財 浄興寺本堂



⑨ ～スポーツ振興の推進～

(東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン推進)

東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業

100,000 円

寄附金は、東京オリンピック・パラリンピックにおけるドイツのホストタウンの取組に活用しました。

令和元年度は、ドイツパラリンピック柔道チームの合宿の受入れや招致活動に取り組んだ結果、令和元年 8 月に東京パラリンピックの事前合宿地とする覚書を締結しました。また、11 月には、世界選手権大会に出場したドイツランポリンチームの事前合宿を受け入れ、公開練習やランポリン体験などの交流事業を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により令和 2 年の本大会の開催は延期となりましたが、今後もホストタウンとして、本大会に向けた機運の醸成に取り組めます。

▼ ドイツパラリンピック柔道チームとの交流練習



▲ ドイツランポリンチームの公開練習

⑩ ～教育環境の整備～

図書充実費

100,000 円

寄附金は、上越市立図書館 4 館の「絵本や物語など 2,648 冊の児童図書」の購入費の一部に活用しました。

図書館では、分館を含む 4 館で年間約 20 万人を超える方からご利用いただいております。多岐にわたるジャンルの図書を購入し、図書の充実を図っています。児童図書については、個人への貸出だけでなく、保育園や学校などの団体貸出にも活用しました。

これまで以上に子どもたちが本に親しむ機会を提供するため、放課後児童クラブへの貸出を増やすなど、様々な取組を進めます。

▼ 高田図書館児童図書コーナー



▲ 直江津図書館こどもとしょいっつ

⑫ ～「市長にお任せ」～ 当市の重点事業に活用

小林古径記念美術館増改築事業

10,000,000 円

寄附金は、小林古径記念美術館の増改築工事のために活用しました。

小林古径記念美術館は、本市出身の日本画家で近代日本画壇を代表する「小林古径」を顕彰する施設です。上越市立総合博物館と施設を共有し運営していましたが、展示室や一時保管庫、多目的室などを小林古径邸敷地内に移設し、小林古径邸と一体の美術館として再整備しました。

令和元年度は、前年度から継続して増改築工事を、また令和2年度は外構工事、造園工事をそれぞれ完了し、令和2年10月3日、開館いたしました。

今後も、小林古径作品に限らず、本市ゆかりの作家の美術作品などを紹介する市立美術館として、皆さんに美術に親しむ機会を提供し、創造性豊かな活動の場を創出します。

▼ 小林古径記念美術館 増改築後の外観



▲ 古径記念室

上越市体操アリーナ整備事業

1,295,000 円

寄附金は、上越市立上越体操場「ジムリーナ」の整備のために活用しました。

令和2年1月にオープンした「ジムリーナ」は、市民の健康増進や生涯スポーツの充実、地元選手の競技力向上のほか、大会や合宿等の誘致と市内外の人的交流の促進、地域の活性化などを目的とし、整備しました。

施設内には国際体操連盟公式競技認定の器具を備え、今後、市内外の大学やクラブチーム、ナショナルチームの利用を予定しています。また、日本で開催予定のオリンピック・パラリンピックでは、海外の体操連盟の事前合宿地としても予定しています。

▼ 上越市立上越体操場ジムリーナ 外観



▲ 上越市立上越体操場ジムリーナ 内観

3 寄附者の皆さんからの応援メッセージ紹介



令和元年度の寄附者の皆さんと、いただいた当市への応援メッセージを紹介します。なお、お申し込みの際に、同意いただいた方のみ掲載しています。（掲載はお申し込み順。）

お名前	寄附金額	上越市への応援メッセージ
(株)越の国 いろり庵様	43,030円	上越市で取組んでおられる「日本三大夜桜観桜会 美しい桜の保全活動を支援しよう！」活動とても素敵です。歴史と文化の「日本三大夜桜」高田公園がこれからも県内外の皆様との交流の懸け橋としてあり続けますことを願い、微力ではございますが当社「さくら咲く」プロジェクトは桜保全活動を応援させていただきます。
後藤 昌浩様	100,000円	—
内村 聡様	—	—
永久 均様	100,000円	—
俵木 裕毅様	—	—
池田 雅夫様	20,000円	過疎化がすすみ、限界集落とも云われる故里。住んでいるのは老人ばかり。起死回生の手だてはないものかと、苦悩しています。
富永 俊一様	100,000円	—
稲田 志穂子様	—	—
福田 良夫様	100,000円	18才まで上越で育ちました。71才になっても、古里はいつも心の中にあります。上越の平安と発展を祈っております。
前山 直樹様	—	—
鷺田 健太様	—	—
前崎 盛和様	—	—
田中 嘉一様	—	仕事の都合で東京都に住所を移しております。住民税は東京都に納税しておりますが、その一部を故郷、上越市の発展の為に使ってください。
田中 康生様	—	—

お名前	寄附金額	上越市への応援メッセージ
神山 裕美 様	100,000 円	母が介護でお世話になっています。行政、社協、ケアマネ、事業所の方々に皆さんよくしていただき感謝しています。
美山 良薫 様	100,000 円	—
高倉 雅浩 様	—	旧吉川町出身です。15年ほど前に上京して以来、年に何回か上越に帰省しますが人口は減少傾向のようです。全国の地方でも同様の傾向が見られますがいかに地元独自のものをアピールできるか知恵を絞って頑張ってもらいたいと思います。
田近 恵子 様	100,000 円	—
佐藤 雄一 様	—	—
川島 秀夫 様	100,000 円	—
<p>本報告書への掲載に当たり、匿名希望の寄附者の皆さんからいただいた応援メッセージも紹介します。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○市は高田公園の桜が 100 年先まで元気で見事な花を咲かせるように取り組んでいます。観光で訪れた全国の方々に理解と支援が広がることを期待します。 ○自然豊かな環境、新鮮な海産物、人々の温かさ都会にはない魅力がたくさん溢れている場所です。益々の発展を楽しみにしています。 ○両親が上越市に住んでおり、たくさんの方々のお世話になっております。お陰様で年を重ねても自分らしく暮らすことができおり心から感謝申し上げます。きめ細かい高齢者福祉をこれからも進めてくださいますようお願い申し上げます。 ○父のふるさとです。私自身も毎年上越に来て、ゆっくり過ごしています。都会の慌ただしさから離れた、ホッとできる上越の魅力をもっと広めていってください。応援しております！

【担当・お問合せ先】

上越市 財務部 用地管財課 財産運用室

〒943-8601 新潟県上越市木田 1 丁目 1-3

電話：025-526-5111 FAX：025-526-6114

E-mail：youchikanzai@city.joetsu.lg.jp

URL：http://www.city.joetsu.niigata.jp

